



クラブ訪問

293

「1本1本を大切に」

中台中学校女子バレーボール部

私たち「中台中学校女子バレーボール部」は、1年生7人、3年生11人の計18人で平日の放課後に体育館で活動しています。

練習は、全員でウォーミングアップをした後、パスやサーブ、スパイクなどの基本的なことから始め、最後にゲーム形式の練習で実践力を高めています。

先生からは「1本1本を大切にしよう」とよく

言われます。試合になると雰囲気にもまれてしまい、サーブがうまく打てなくなったり、ミスから失点して、立て直せなくなったりすることがあります。練習では積極的にボールに触り、ミスがあっても最後まで粘り強くボールを追いかけるところで、試合でも落ち着いて実力を発揮できるように、緊張感を持って取り組んでいます。

仲が良いのもこの部の特長の一つ。私たちには2年生がいません。うまく打てない時は、学年に関係なく、みんなでアドバイスをし合い、サーブが決まった時はハイタッチをして、喜び合います。みんなでフォローをして一緒に成長していくことで、結束力がより高まっていると感じています。

目標は夏の総合体育大会で、一つでも多く勝ち星を挙げることに。このチームでたくさん試合に出続けられるように頑張っていきたいです。



落下点に入って



ネット際の攻防



すなが ひまり
須永 向日葵 部長(3年生)

仮入部で先輩が優しく接してくれたので入部しました。誰よりも声を出して、部を盛り上げていきたいです。

なかまと一緒

291

「作るほどに引き込まれる」

陶永会



数々の作品と共に



納得いくまで形を整える



置物や食器を制作

私たち「陶永会」は、毎週水曜日に公津公民館で活動している陶芸のサークルです。活動では、メンバーそれぞれが自由に制作に取り組みます。食器や花瓶、置物など、その時に作りたい物をそれぞれのペースで作ります。制作の第一段階は成形。粘土をこねたり、ろくろを回したりしながら形を整える一連の作業では、時には没頭し、時にはメンバーと会話しながら、心穏やかな時間を過ごしています。

形が出来上がると、素焼き、釉薬ゆうやくを使った色付け、本焼きを行います。同じ釉薬を使っても、粘土の質や窯の温度、焼き方や焼き時間によって仕上がりの色はさまざま。思い通りの色合いで作品が完成した時の喜びは格別です。思い通りにならず残念に感じることもあります。思い通りに仕上がらなくても、それも含めて陶芸の奥深さだと思います。次こそはと工夫を重ねるうちに、どんどん引き込まれていきます。

作品を見せ合い、感想を交わす時間も楽しみの一つ。メンバーの中には、40年以上にわたって続けている人もいれば、始めて数年の人もいて、お互いに刺激を受けています。作品は、日常で使うたびに愛着が増し、暮らしに彩りを与えてくれます。

また、年に一度、市民文化祭で作品を展示します。作品を見た人や友人から褒められたり、「欲しい」と言ってもらえたりするのは、大きな励みになります。

これからも、メンバー同士で和気あいあいとした雰囲気の中、作品を生み出していきたいです。

スクスクのびのび

555



さへ ばい 慶くん

食べるの大好き!我が家のムードメーカーです♪



い だ まし 白ちゃん

初めての体験をたくさんして、笑顔で育ってね♥



み た そう た 三田 楓大くん

初めての、こどもの日☆



専用フォーム

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法
- 応募先
- 問い合わせ先

お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報メディア推進課へ。専用フォームからも応募できます
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報メディア推進課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報メディア推進課 ☎20-1503